

MITSUBISHI

ロスナイ用システム部材
コントロールスイッチ

形名

P-1600SWL

形名コード 537 755

取付・取扱説明書

このコントロールスイッチはロスナイの運転に使用します。

- 取付工事を始める前に、必ずこの取付・取扱説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。（お客様ご自身での工事は、故障の原因になります）
- 取付けには市販のJIS C 8340の1個用スイッチボックスが必要です。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

■ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。

■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

△ 警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

 水ぬれ禁止

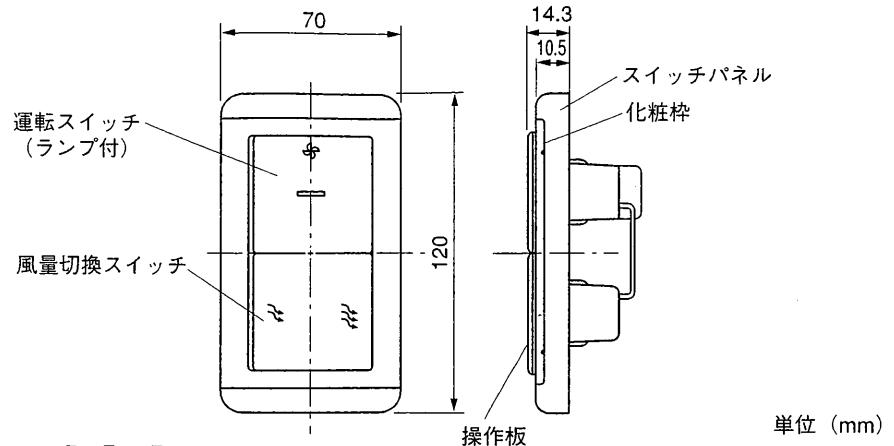
 指示に従い必ず行う

△ 警告

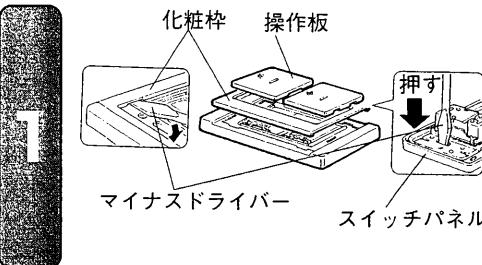
- | | |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●コントロールスイッチを水につけたり、水をかけたりしない（火災や感電の恐れがあります） |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります） ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う（接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります） |

0406870HC8105

各部のなまえと外形寸法図

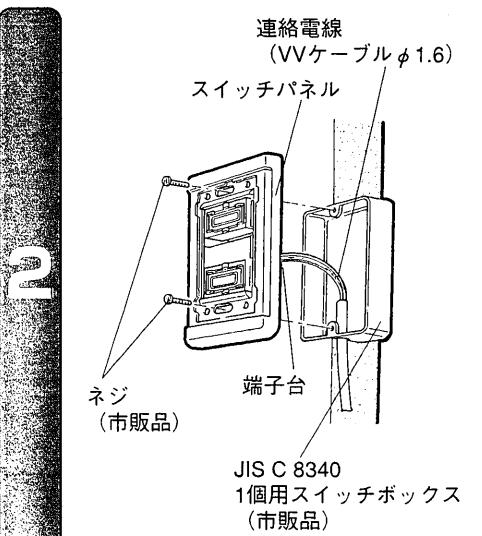


取付方法



操作板・化粧枠の取りはずし

1. マイナスドライバーを使用してスイッチパネル裏側から操作板を取りはずす。
2. スイッチパネル表側から化粧枠を取りはずす。



連絡電線の接続とスイッチパネルの固定

1. 連絡電線を結線図に従ってスイッチの端子台へ接続する。
2. スイッチパネルを1個用スイッチボックスに取付ける。

●結線方法は、ロスナイ本体によって異なります。
同梱のチラシを参照して結線してください。

お願ひ

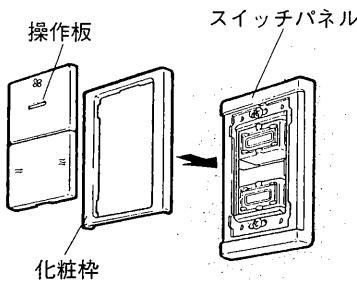
- 結線をまちがえますと、ファンが回らなかったり、風量切換スイッチが「強」でも「弱」運転をすることがあります。間違えないように結線してください。

取付方法 つづき



複数台運転

決められた台数（カタログ・納入仕様書等に記載）以上接続すると、スイッチの接点容量が過負荷となり故障の原因となります。



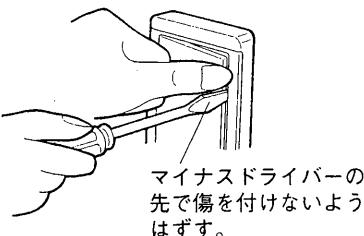
化粧枠・操作板の取付け

1. スイッチパネルに化粧枠をはめ込む。
2. 操作板を化粧枠にはめ込む。

お願い

- 操作板は、外形寸法図を参照しスイッチ表示の上下を間違えないように取付けてください。

操作板のはずしかた



取付け後、結線を確認する場合は、左図のように操作板をはずし、取付けと逆の順序で取りはずす。

試運転

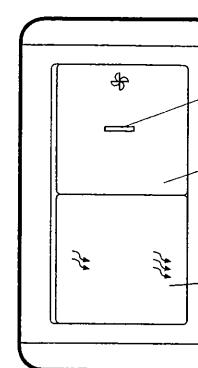
結線終了後、電源を入れる前に必ず結線が間違っていないか再度確認し、試運転を行ってください。

1. 運転スイッチを押して運転開始する。
●動作しない場合、スイッチ表示の上下を間違えている可能性があります。
(取付方法3項参照)
2. 風量切換スイッチの「強」・「弱」（または「急速」・「ロスナイ」、「脱臭」・「ロスナイ」）を切り換えると運転を確認する。
●風が出なかったり、「強」・「弱」（または「急速」・「ロスナイ」、「脱臭」・「ロスナイ」）が逆の場合は誤結線です。電源を切り正しく結線をしてください。
- 詳細については、ロスナイ本体に付属の取付工事説明書を参照してください。

使用方法

コントロールスイッチは、ロスナイ本体との組合せにより運転・停止と風量の切り替えができます。

- 詳細については、ロスナイ本体に付属の取扱説明書を参照してください。



ランプ

運転スイッチ（ランプ付）

- 右側を押すと運転開始（ランプ点灯）
- 左側を押すと運転停止（ランプ消灯）

風量切換スイッチ

- 右側を押すと「強」または「急速」、「脱臭」
- 左側を押すと「弱」または「ロスナイ」